

青森県景気ウォッチャー調査 (令和5年1月期)

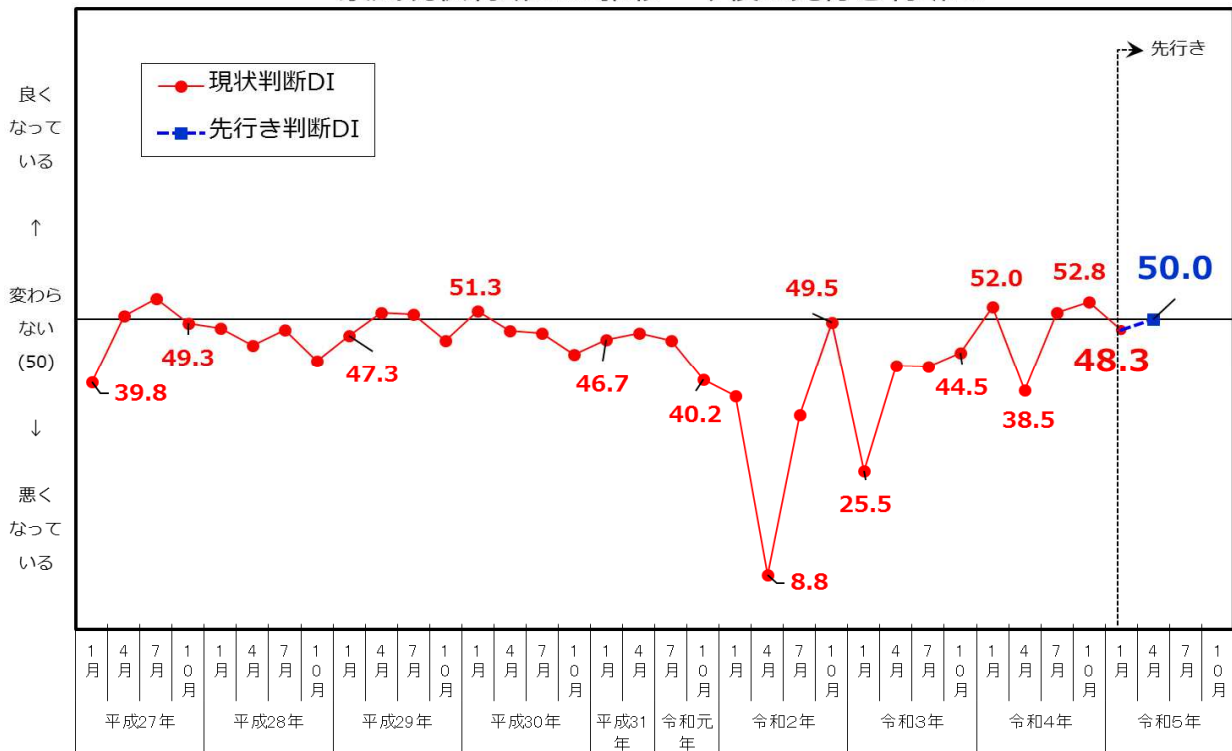
調査期間 令和5年1月4日～1月23日 回答率 100%

概 況

1月期の景気の現状判断DIは48.3となり、前期から4.5ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を3期ぶりに下回った。

先行き判断DIは、現状判断DIと比べて1.7ポイント上昇の50.0となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



令和5年2月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント低下、「やや良くなっている」が3.0ポイント低下、「変わらない」が2.0ポイント低下、「やや悪くなっている」が3.0ポイント上昇、「悪くなっている」が4.0ポイント上昇となった。

全体では48.3となり、前期から4.5ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を3期ぶりに下回った。

判断理由では、3カ月前と比べて、全国旅行支援や青森県おでかけキャンペーン等の影響により旅行需要が増し、人の動きが活発になっている、ウィズコロナの動きがみられるようになってきたといった声がある一方で、依然として続いている原油、原材料、光熱費の価格高騰や、相次ぐ各種商品の値上げによる購買意欲の低下、消費活動の停滞を懸念する声が多くみられた。

② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で5.3ポイント低下、企業関連で2.7ポイント上昇、雇用関連で14.3ポイント低下となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青、津軽、下北で低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が同水準、「やや良くなる」が6.0ポイント低下、「変わらない」が16.0ポイント上昇、「やや悪くなる」が7.0ポイント低下、「悪くなる」が3.0ポイント低下となった。

全体では50.0となり、今期調査の現状判断DIと比べて1.7ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50と同水準となった。

判断理由では、全国旅行支援による冬季観光への動きや国際線の就航再開によるインバウンドの影響を期待する声がある一方で、依然として続く原油、原材料、光熱費等の価格高騰や物価上昇の影響で節約志向となり経済が停滞する、消費動向が好転する要素がないといった声があった。

② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で2.7ポイント上昇、企業関連で6.9ポイント低下、雇用関連で14.3ポイント上昇となった。

③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、東青で低下し、東青、下北で景気の横ばいを示す50を下回った。

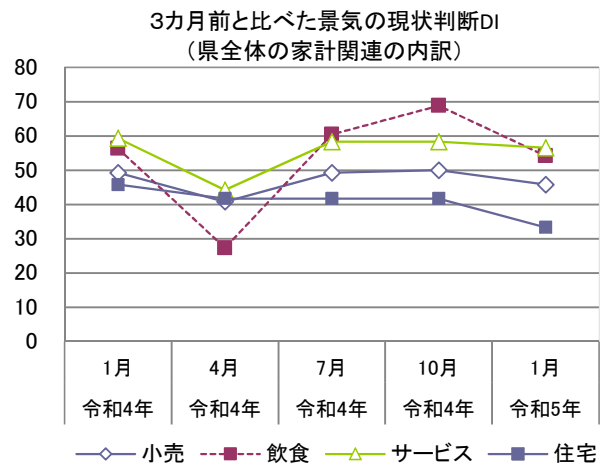
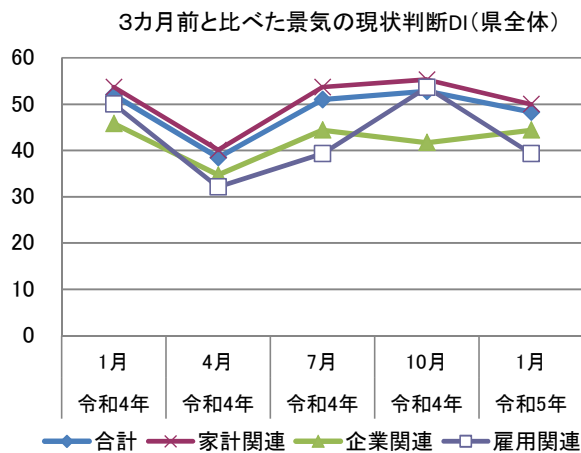
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

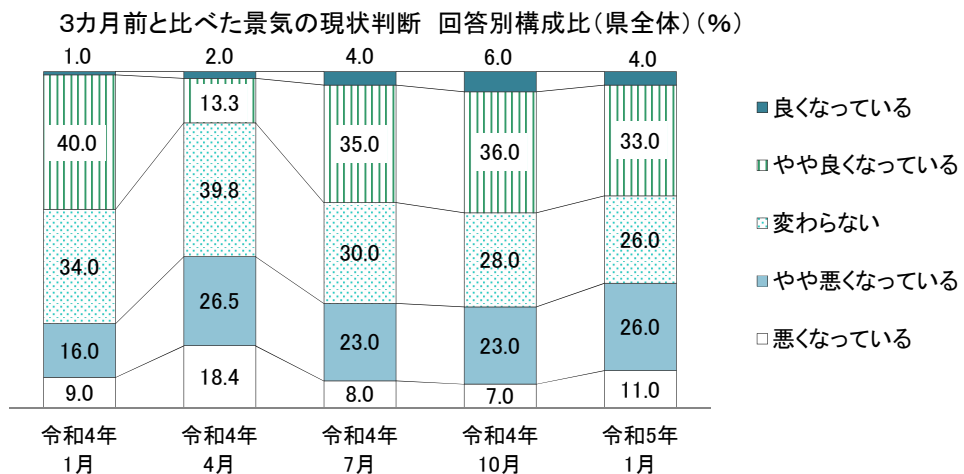
n = 100

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	52.0	38.5	51.0	52.8	48.3	▲ 4.5
家計関連	53.7	40.1	53.7	55.3	50.0	▲ 5.3
小売	49.2	40.8	49.2	50.0	45.8	▲ 4.2
飲食	56.3	27.3	60.4	68.8	54.2	▲ 14.6
サービス	59.3	44.2	58.3	58.3	56.5	▲ 1.8
住宅	45.8	41.7	41.7	41.7	33.3	▲ 8.4
企業関連	45.8	34.7	44.4	41.7	44.4	2.7
雇用関連	50.0	32.1	39.3	53.6	39.3	▲ 14.3



②回答別構成比 (%)

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
良くなっている	1.0	2.0	4.0	6.0	4.0	▲ 2.0
やや良くなっている	40.0	13.3	35.0	36.0	33.0	▲ 3.0
変わらない	34.0	39.8	30.0	28.0	26.0	▲ 2.0
やや悪くなっている	16.0	26.5	23.0	23.0	26.0	3.0
悪くなっている	9.0	18.4	8.0	7.0	11.0	4.0



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 100

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	47.8	50.3	47.0	49.0	50.0	1.0
家計関連	49.0	52.4	49.7	50.7	52.7	2.0
小売	50.8	50.8	48.3	45.8	53.3	7.5
飲食	41.7	56.8	56.3	70.5	52.1	▲ 18.4
サービス	49.1	57.7	52.8	50.9	54.6	3.7
住宅	54.2	29.2	29.2	37.5	41.7	4.2
企業関連	38.9	40.3	37.5	40.3	37.5	▲ 2.8
雇用関連	57.1	53.6	42.9	53.6	53.6	0.0

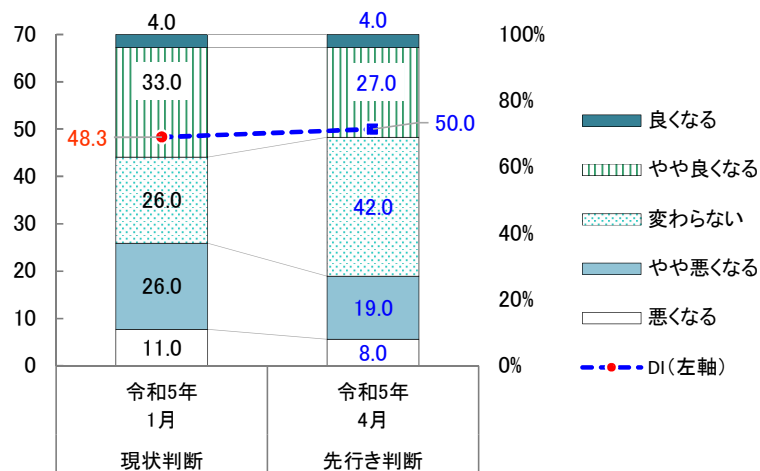
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
合 計	48.3	50.0	1.7
家計関連	50.0	52.7	2.7
小売	45.8	53.3	7.5
飲食	54.2	52.1	▲ 2.1
サービス	56.5	54.6	▲ 1.9
住宅	33.3	41.7	8.4
企業関連	44.4	37.5	▲ 6.9
雇用関連	39.3	53.6	14.3

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
良くなる	4.0	4.0	0.0
やや良くなる	33.0	27.0	▲ 6.0
変わらない	26.0	42.0	16.0
やや悪くなる	26.0	19.0	▲ 7.0
悪くなる	11.0	8.0	▲ 3.0

現状判断と先行き判断との比較(県全体・合計)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

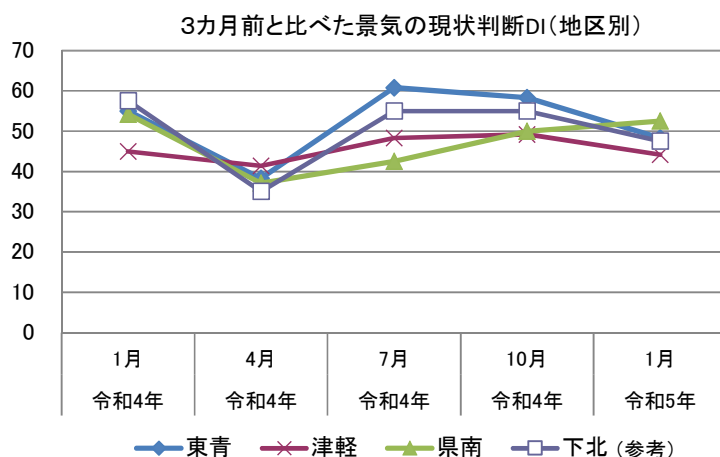
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

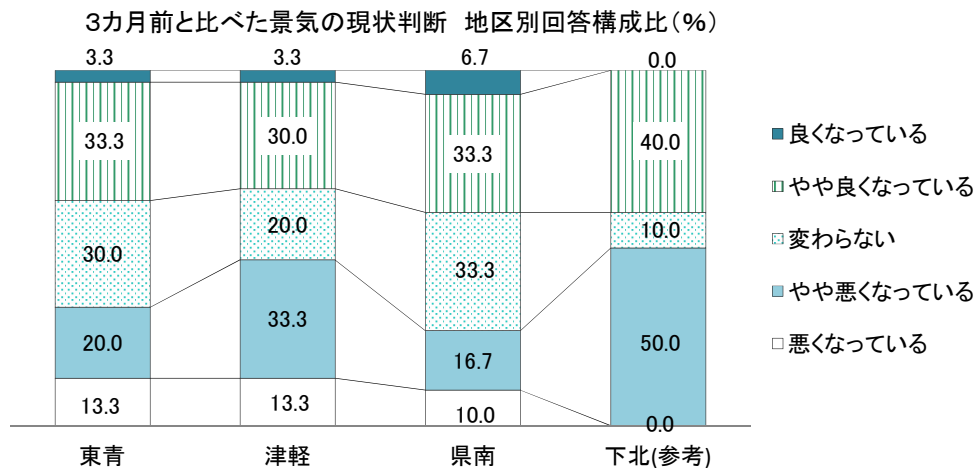
n = 100

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	52.0	38.5	51.0	52.8	48.3	▲ 4.5
東青	55.0	38.3	60.8	58.3	48.3	▲ 10.0
津軽	45.0	41.4	48.3	49.2	44.2	▲ 5.0
県南	54.2	37.1	42.5	50.0	52.5	2.5
下北	57.5	35.0	55.0	55.0	47.5	▲ 7.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなっている	3.3	3.3	6.7	0.0
やや良くなっている	33.3	30.0	33.3	40.0
変わらない	30.0	20.0	33.3	10.0
やや悪くなっている	20.0	33.3	16.7	50.0
悪くなっている	13.3	13.3	10.0	0.0



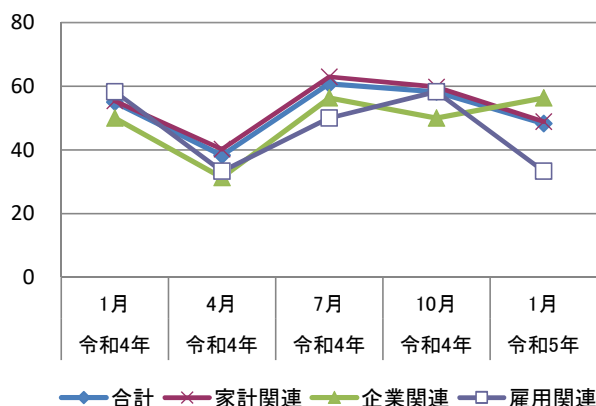
<東青地区>

①DI

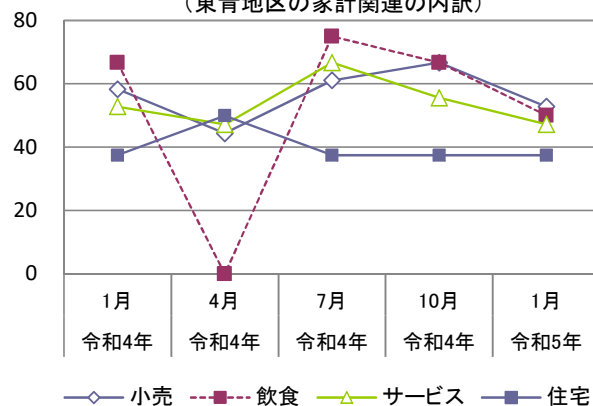
n = 30

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	55.0	38.3	60.8	58.3	48.3	▲ 10.0
家計関連	55.4	40.2	63.0	59.8	48.9	▲ 10.9
小売	58.3	44.4	61.1	66.7	52.8	▲ 13.9
飲食	66.7	0.0	75.0	66.7	50.0	▲ 16.7
サービス	52.8	47.2	66.7	55.6	47.2	▲ 8.4
住宅	37.5	50.0	37.5	37.5	37.5	0.0
企業関連	50.0	31.3	56.3	50.0	56.3	6.3
雇用関連	58.3	33.3	50.0	58.3	33.3	▲ 25.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



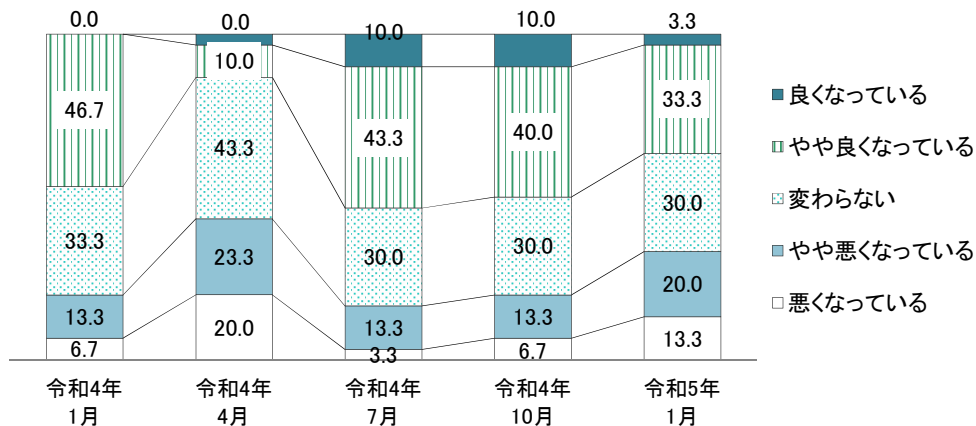
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	10.0	10.0	3.3	▲ 6.7
やや良くなっている	46.7	10.0	43.3	40.0	33.3	▲ 6.7
変わらない	33.3	43.3	30.0	30.0	30.0	0.0
やや悪くなっている	13.3	23.3	13.3	13.3	20.0	6.7
悪くなっている	6.7	20.0	3.3	6.7	13.3	6.6

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



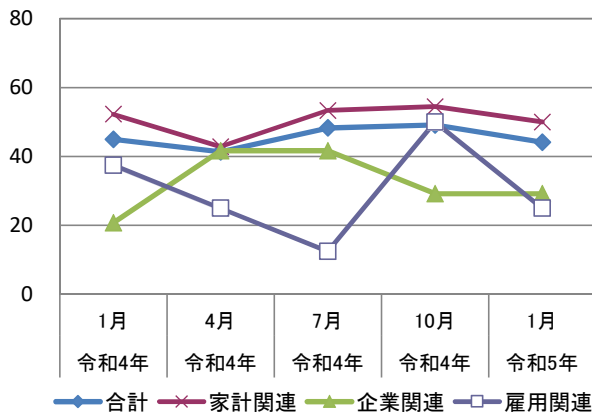
<津軽地区>

① D I

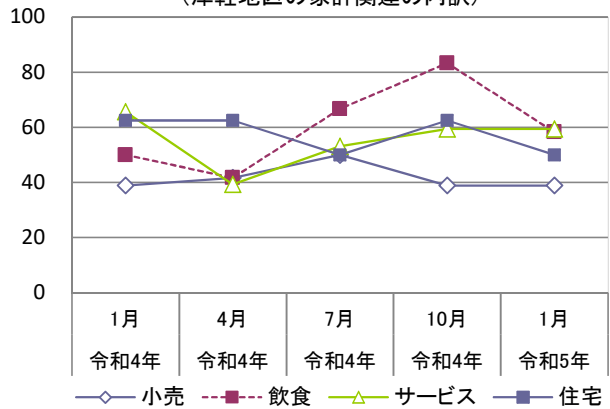
n=30

		令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	家計関連	45.0	41.4	48.3	49.2	44.2	▲ 5.0
	小売	52.3	42.9	53.4	54.5	50.0	▲ 4.5
	飲食	38.9	41.7	50.0	38.9	38.9	0.0
	サービス	50.0	41.7	66.7	83.3	58.3	▲ 25.0
	住宅	65.6	39.3	53.1	59.4	59.4	0.0
	企業関連	62.5	62.5	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5
	雇用関連	20.8	41.7	41.7	29.2	29.2	0.0
雇用関連	37.5	25.0	12.5	50.0	25.0	▲ 25.0	

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



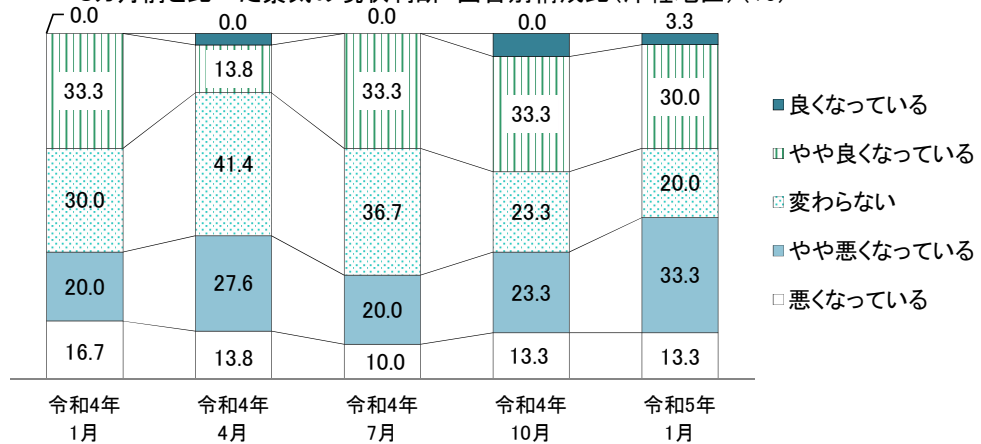
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.4	0.0	6.7	3.3	▲ 3.4
やや良くなっている	33.3	13.8	33.3	33.3	30.0	▲ 3.3
変わらない	30.0	41.4	36.7	23.3	20.0	▲ 3.3
やや悪くなっている	20.0	27.6	20.0	23.3	33.3	10.0
悪くなっている	16.7	13.8	10.0	13.3	13.3	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



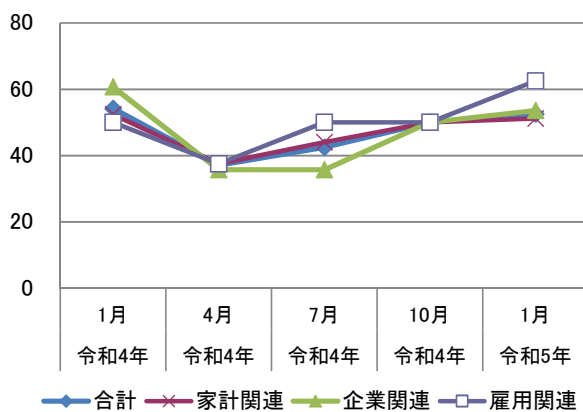
< 県南地区 >

① D I

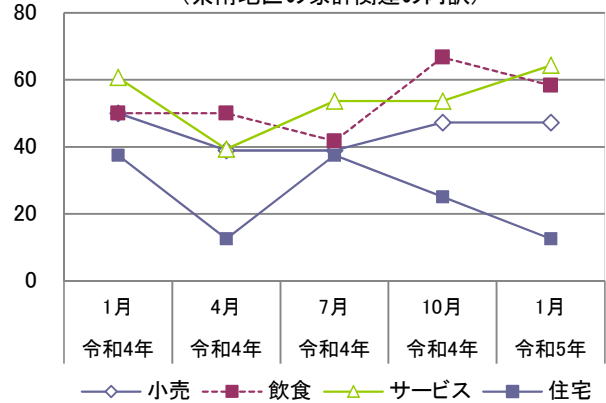
n = 30

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	54.2	37.1	42.5	50.0	52.5	2.5
家計関連	52.4	37.5	44.0	50.0	51.2	1.2
小売	50.0	38.9	38.9	47.2	47.2	0.0
飲食	50.0	50.0	41.7	66.7	58.3	▲ 8.4
サービス	60.7	39.3	53.6	53.6	64.3	10.7
住宅	37.5	12.5	37.5	25.0	12.5	▲ 12.5
企業関連	60.7	35.7	35.7	50.0	53.6	3.6
雇用関連	50.0	37.5	50.0	50.0	62.5	12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



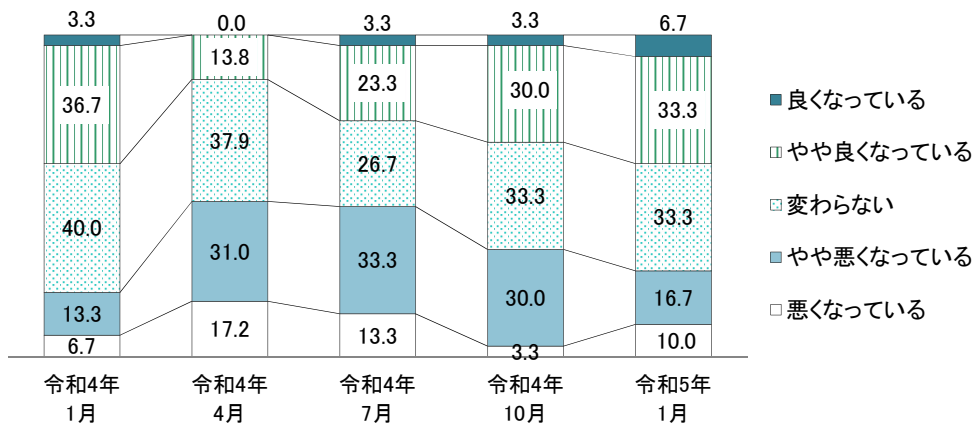
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	3.3	3.3	6.7	3.4
やや良くなっている	36.7	13.8	23.3	30.0	33.3	3.3
変わらない	40.0	37.9	26.7	33.3	33.3	0.0
やや悪くなっている	13.3	31.0	33.3	30.0	16.7	▲ 13.3
悪くなっている	6.7	17.2	13.3	3.3	10.0	6.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)

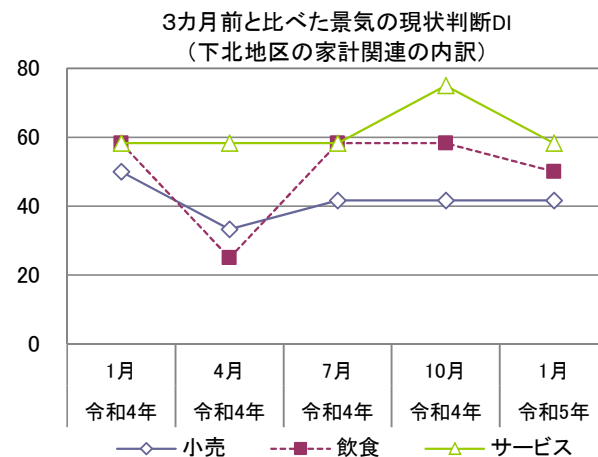
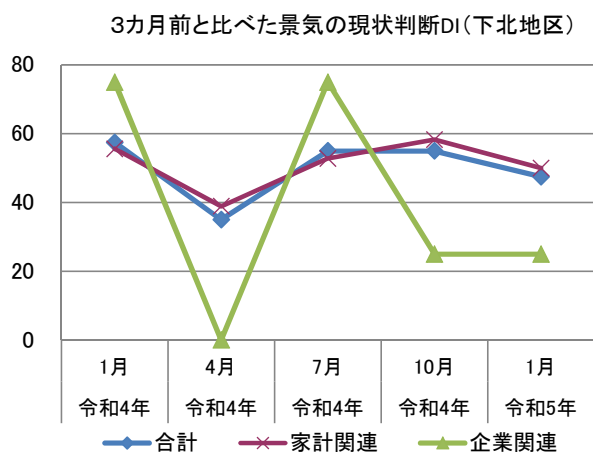


<下北地区> (参考)

①DI

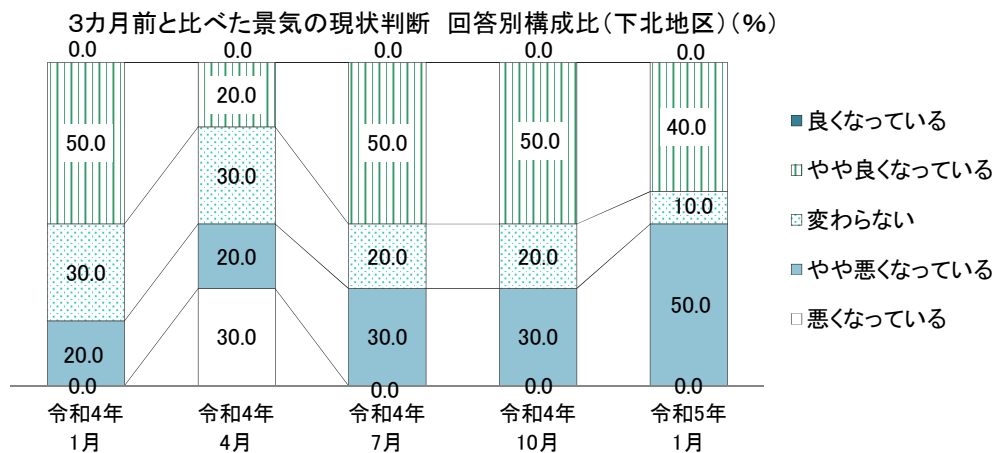
n = 10

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合計	57.5	35.0	55.0	55.0	47.5	▲ 7.5
家計関連	55.6	38.9	52.8	58.3	50.0	▲ 8.3
小売	50.0	33.3	41.7	41.7	41.7	0.0
飲食	58.3	25.0	58.3	58.3	50.0	▲ 8.3
サービス	58.3	58.3	58.3	75.0	58.3	▲ 16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	50.0	20.0	50.0	50.0	40.0	▲ 10.0
変わらない	30.0	30.0	20.0	20.0	10.0	▲ 10.0
やや悪くなっている	20.0	20.0	30.0	30.0	50.0	20.0
悪くなっている	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

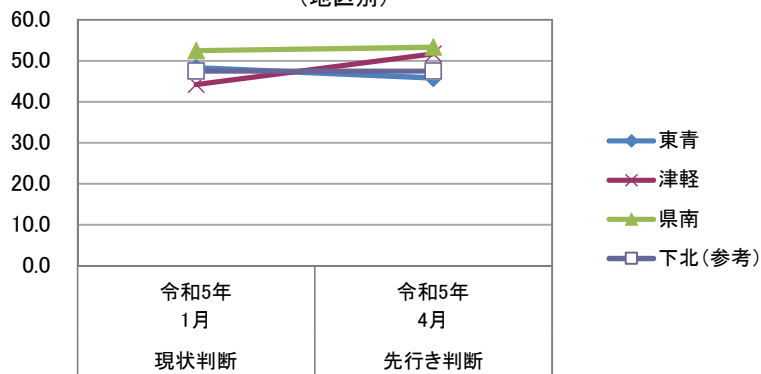
<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

n = 100

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
合計	48.3	50.0	1.7
東青	48.3	45.8	▲ 2.5
津軽	44.2	51.7	7.5
県南	52.5	53.3	0.8
下北	47.5	47.5	0.0

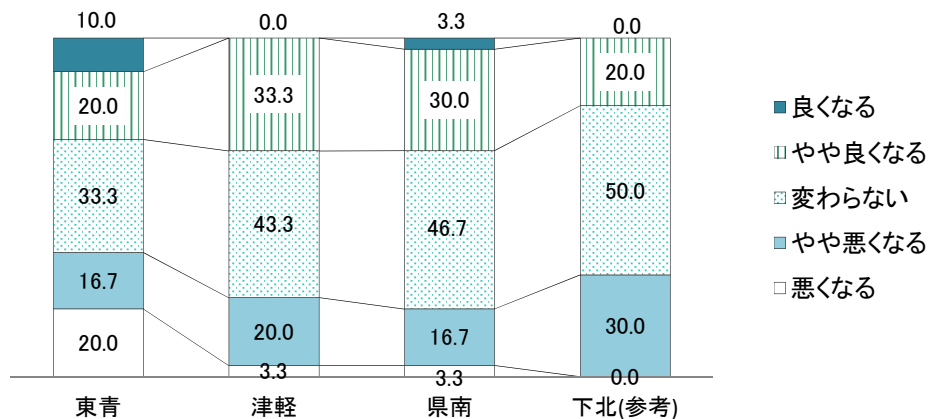
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなる	10.0	0.0	3.3	0.0
やや良くなる	20.0	33.3	30.0	20.0
変わらない	33.3	43.3	46.7	50.0
やや悪くなる	16.7	20.0	16.7	30.0
悪くなる	20.0	3.3	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	50.0	53.3	54.2	52.6	45.8	▲ 6.8
家計関連	51.1	55.4	59.8	53.4	48.9	▲ 4.5
小売	61.1	58.3	69.4	63.9	63.9	0.0
飲食	50.0	66.7	66.7	75.0	50.0	▲ 25.0
サービス	41.7	52.8	52.8	41.7	38.9	▲ 2.8
住宅	50.0	37.5	37.5	37.5	25.0	▲ 12.5
企業関連	43.8	43.8	37.5	56.3	25.0	▲ 31.3
雇用関連	50.0	50.0	33.3	41.7	50.0	8.3

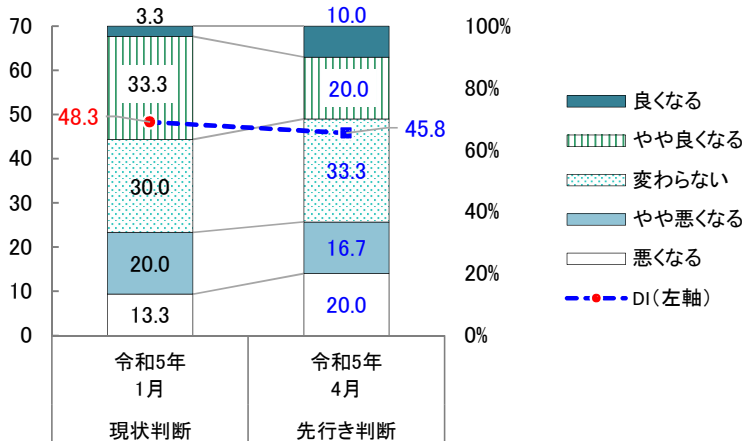
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
合 計	48.3	45.8	▲ 2.5
家計関連	48.9	48.9	0.0
小売	52.8	63.9	11.1
飲食	50.0	50.0	0.0
サービス	47.2	38.9	▲ 8.3
住宅	37.5	25.0	▲ 12.5
企業関連	56.3	25.0	▲ 31.3
雇用関連	33.3	50.0	16.7

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
良くなる	3.3	10.0	6.7
やや良くなる	33.3	20.0	▲ 13.3
変わらない	30.0	33.3	3.3
やや悪くなる	20.0	16.7	▲ 3.3
悪くなる	13.3	20.0	6.7

現状判断と先行き判断との比較(東青・合計)



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

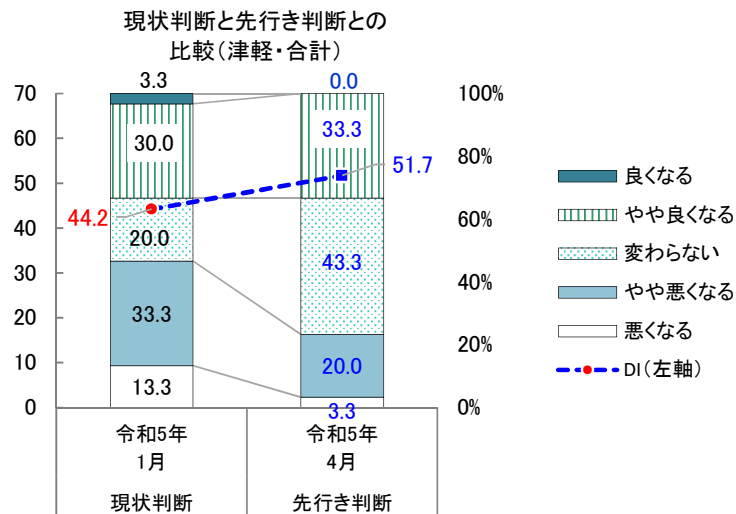
	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	46.7	50.9	45.8	51.7	51.7	0.0
家計関連	48.9	48.8	50.0	56.8	55.7	▲ 1.1
小売	44.4	41.7	41.7	44.4	50.0	5.6
飲食	50.0	41.7	66.7	83.3	58.3	▲ 25.0
サービス	50.0	64.3	56.3	59.4	62.5	3.1
住宅	62.5	37.5	37.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	33.3	50.0	29.2	29.2	37.5	8.3
雇用関連	62.5	75.0	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
合 計	44.2	51.7	7.5
家計関連	50.0	55.7	5.7
小売	38.9	50.0	11.1
飲食	58.3	58.3	0.0
サービス	59.4	62.5	3.1
住宅	50.0	50.0	0.0
企業関連	29.2	37.5	8.3
雇用関連	25.0	50.0	25.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
良くなる	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなる	30.0	33.3	3.3
変わらない	20.0	43.3	23.3
やや悪くなる	33.3	20.0	▲ 13.3
悪くなる	13.3	3.3	▲ 10.0



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

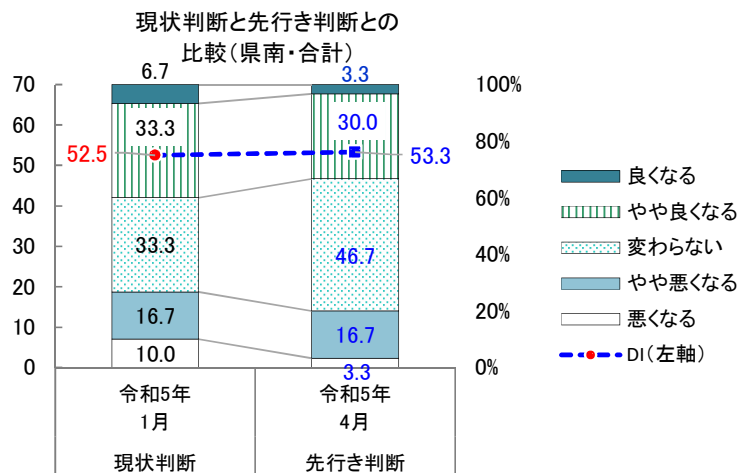
	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	47.5	43.1	40.0	45.8	53.3	7.5
家計関連	47.6	47.5	39.3	45.2	54.8	9.6
小売	52.8	50.0	41.7	41.7	50.0	8.3
飲食	25.0	62.5	33.3	58.3	50.0	▲ 8.3
サービス	50.0	50.0	46.4	53.6	64.3	10.7
住宅	50.0	12.5	12.5	12.5	50.0	37.5
企業関連	42.9	32.1	39.3	42.9	46.4	3.5
雇用関連	62.5	37.5	50.0	62.5	62.5	0.0

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
合 計	52.5	53.3	0.8
家計関連	51.2	54.8	3.6
小売	47.2	50.0	2.8
飲食	58.3	50.0	▲ 8.3
サービス	64.3	64.3	0.0
住宅	12.5	50.0	37.5
企業関連	53.6	46.4	▲ 7.2
雇用関連	62.5	62.5	0.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
良くなる	6.7	3.3	▲ 3.4
やや良くなる	33.3	30.0	▲ 3.3
変わらない	33.3	46.7	13.4
やや悪くなる	16.7	16.7	0.0
悪くなる	10.0	3.3	▲ 6.7



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

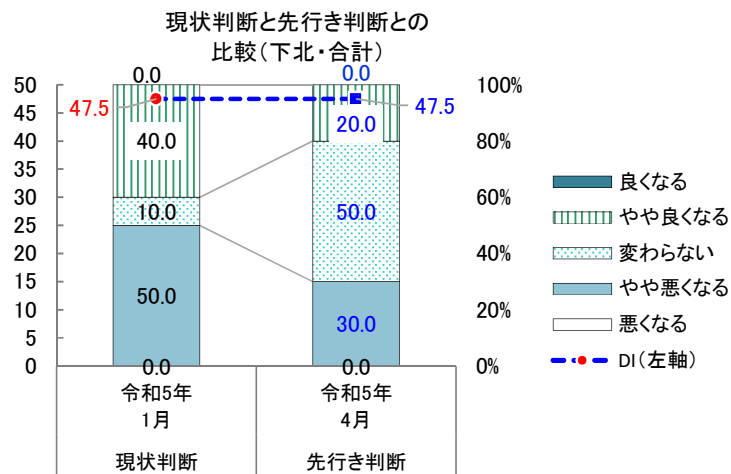
	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	45.0	60.0	50.0	40.0	47.5	7.5
家計関連	47.2	63.9	47.2	41.7	50.0	8.3
小売	33.3	58.3	25.0	8.3	41.7	33.4
飲食	41.7	58.3	58.3	66.7	50.0	▲ 16.7
サービス	66.7	75.0	58.3	50.0	58.3	8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	25.0	75.0	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
合 計	47.5	47.5	0.0
家計関連	50.0	50.0	0.0
小売	41.7	41.7	0.0
飲食	50.0	50.0	0.0
サービス	58.3	58.3	0.0
住宅	-	-	-
企業関連	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 1月	先行き判断 令和5年 4月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	40.0	20.0	▲ 20.0
変わらない	10.0	50.0	40.0
やや悪くなる	50.0	30.0	▲ 20.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	津軽	観光名所等	青森お出かけキャンペーン、プレミアム商品券、わが事業者はこれらの効果がすごかった。三村知事の香港表敬訪問と誘客効果で当施設に毎日香港からのバスが来場。
		県南	レストラン	お客様が増えました。(おでかけクーポンの利用できる店舗である事も影響があるかもしれませんが。)仕事で当市に来ている方の来店が多いように思います。
			旅行代理店	行動制限緩和により旅行や帰郷などの動きが活発になった。海外渡航については団体ツアーでも集客ができるようになってきた。
	企業	東青	広告・デザイン	ウィズコロナ生活の恒常化で、消費者の生活行動が以前に戻りつつあり購買意欲も削がれていない。物価高騰に関しても、コロナの長期化対策をも含む国・行政の「選択と集中」の各種交付金対策が施され、その効果が表れている感がある。
やや良くなっている	家計	東青	衣料専門店	景気は“気”から。以前より報道がコロナ禍を煽らなくなってきたことと旅行クーポン発行など政府も景気対策をしてきたことから来店のお客様も購買欲が増している。
			観光名所等	来館者がコロナ禍以前（2019年）よりも増えているので。
			一般飲食店	年末年始で人が移動、帰省していて、その分の需要が先年よりあったように思います。
			商店街	コロナへの人々の対応も落ち着きを見せ、県外からの来店客も含め、人の動きが多く活発になって、経済が回り始めているように感じる。
			都市型ホテル	時期的に当市は観光の閑散期ではあるが、全国旅行支援による旅行需要喚起効果や、インバウンド旅行者の増加を感じる。
			美容院	年末という事で人の流れもありました。
			家電量販店	食料品や光熱費など、毎日の生活に最低限欠かせない品目の値上げにより、消費者の生活を圧迫する日々が続いておりますが、一方では、コロナ下での生活はすでに定着しており、国や県による旅行・観光支援等を利用してこれらの娯楽に支出を充てる消費者も増加の傾向にあり、物価高の風潮においても景気はやや良くなっていると思われまます。
			旅行代理店	おでかけキャンペーンもあり、人の動きが活発になってきた。
		津軽	娯楽業	コロナ禍でも、外出している人が増えていて少しずつ経済が回っていると思う。
			観光型ホテル・旅館	全国割+キャンペーンの併用プランをご利用されるお客様が増えた。
			設計事務所	建築業界では新規工事に於いて鉄骨工事等業者が押さえられないという状態らしいです。規模によっては他県の業者を探すというくらい仕事量が多いと聞いています。鉄骨業者に限らず建築関係の工事業者は今年度の仕事が確定しているようです。昨年からの業務が目に見えて増加している感じがしていましたが今年は更に増している感じがします。
			商店街	年末年始あたりということもあり、財布のヒモがゆるい。福袋やセール、補助金事業のお買い物券が効果的だった。
			旅行代理店	旅行の需要が増している。
			レストラン	全国支援割引等により、観光のお客様が増えている。支援クーポンは、青森県では、ほとんどが飲食店での利用となっている為来店客はかなりありました。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	県南	百貨店・スーパー	コロナウイルスによる行動制限が緩和され、お客様の行動範囲が確実に広がっている。
			タクシー	新型コロナをあまり気にしなくなって街に出るようになってきた。年度末で、人の動きや商品の動きなど活発になっている。
			一般飲食店	やや良くなっているを選択したが、ちょっぴりだけ良いということです。と言うのも、コロナが収まりそうでまた出没する、このたびにユーザーが右往左往している感がある。その影響で良いときもあるが、ダメな時もある。もう少しの時の必要を感じる。
			卸売業	全体会議で売り上げが伸びているという報告が上がったため。
		コンビニ	コロナ禍の中で行動制限が緩和され人流が活発になっている。	
		下北	百貨店・スーパー	ウィズコロナも徐々に浸透し外出の機会が増えることに伴い、身の回り品の買い物が増加しつつある。
	タクシー		コロナ禍とはいえ、行動制限がなく、旅行支援の施策等で、自由に往來できているのでその分潤いはあちこちに出ていると思います。円高だった事で外国人旅行者や輸出面での外貨もプラスになった所もあると思います。	
	都市型ホテル		年末には忘年会等を行う団体も少しづつではあるものの、増えてきています。また、宿泊のお客様も各旅行支援政策により、コロナ禍以前に戻りつつあります。	
	企業	津軽	経営コンサルタント	相変わらず新型コロナウイルス感染はあっちこっちで聞かすが、各事業所でも対応にある程度慣れてきたように感じる。買い物や飲食店の混み具合を見ると、来客数はコロナ禍前と変わらないだけに回復しているように感じる。飲食を伴う会合も以前と同様に開催されるようになり、開催日直前に中止の連絡が入るようなことはここ3か月においてはなくなった。
			飲料品製造	新型コロナウイルス感染者は高止まりしているが、人の動きが通常に戻ってきた。団体の懇親会もおこなわれるようになり、また飲食店の賑わいももどりつつある。
県南		建設	コロナでの外出や移動制限がなくなったことで、年末年始は忘年会や新年会の開催、帰省する人も多く見られ、ショッピングや初詣の人も多かったことから景気も上向ムードだった。また全国旅行支援事業で来県された人も多かったこともあり、3カ月前と比較すると県内経済の活性化はあったのではないかと思います。	
		経営コンサルタント	全国旅行割等の実施により、人流が増えて、観光、宿泊、飲食業の売上げが上昇してきている為。	
雇用		東青	人材派遣	サービス関連企業からの人材問合せが微増しているため。
	県南	人材派遣	取引先の業種・業界により景気観は様々だが、求人への依頼は増加傾向（業務増加）にあるため、景気が上向いている様に感じる。	
変わらない	家計	東青	卸売業	良くなっていると思っていたが全体の売上げ、実績等を読むと昨年並みに留まっている状況。（家庭用、業務用）
			百貨店・スーパー	販売点数の伸び悩み。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	設計事務所	年末や新年の挨拶周りも訪れる人が制限されてる様子の方がえる。この状況では経済活動にも相変わらず大きく影響があり人を通しての情報は得難い。
			娯楽業	業績が回復しないまま日々過ぎている感じです。
			娯楽業	来場されているお客さまの状況から様子、動向からは景気の良い、悪いは判断できません。実際売上は年々減少傾向が例年の動きとなっておりますが、ここ3ヶ月だけを比べると売上が大きく落ち込んでいないため、変わらない状況と回答しました。
			百貨店・スーパー	コロナの新規感染者数の高止まりにも慣れてしまい、以前のようにコロナ罹患患者数の増減によって、お客様の内食需要、買い物動向に変化がほとんどみられないため。
			スナック	当地域の軽食レストランは割とお客様が多く安堵しましたね。平日お客様と連絡ランチ致しました。若カップル、中年カップル沢山いらっしゃいました。
		津軽	一般飲食店	コロナ感染報道が変わらずにされているため。
			スナック	まだ、コロナの影響がある。
			ガソリンスタンド	新型コロナウイルス第8波により感染者が増加したこと、また食品・公共料金等の値上げから消費動向は3か月前と比べ良くなっているとは感じない。
			乗用車販売	物価上昇による買い控え等により景気が停滞していく。
		県南	百貨店・スーパー	悪いままで変わっていないと感じる。コスト上昇が経営を圧迫し、今後更に負担増になる。
			ガソリンスタンド	往来も多くなり回復傾向にあると思われるが、個人消費は物価の上昇もあり、大きく変わらないと思う。
			観光名所等	客入数、売上共に減少が続いているため。
			乗用車販売	原油・原材料等の高騰で、食料品及び生活用品にまで影響が続いており、消費全体が低下から抜け出せていない。
			美容院	来店間隔が少しずつ長くなっている様です。
			一般小売店	円安が回復傾向にあるが、諸物価の高騰で相殺されている。
	下北	スナック	会社で2次会がまだできない会社があるので。	
	企業	東青	経営コンサルタント	燃料・原材料価格、電気料等の物価上昇が高くなっており、企業の利益が減少し、賃金が上がらず消費が伸びなくなっている。
			食料品製造	値上げに慣れてきたので致し方ないと感じて購入する状況でしたが、水道光熱費の値上げがかなり響いてきたようで購買意欲が落ちているのを実感しています。
		県南	広告・デザイン	業種にもよると思うが、広告業に関しては、まだ経費(広告費)を、コロナ前の様に掛けれない企業が多い(特に中小企業)年末年始の広告も地元企業は少なかった様に思う。
			紙・パルプ製造	悪くはないが、3ヶ月前とほぼ変わらない。
雇用	県南	新聞社求人広告	ウィズコロナでイベント等の復活は見られるが物価高で良くも悪くもない状態。	

現状	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなっている	家計	東青	一般小売店	「全国旅行支援」効果が爆発した前期と比べて一服感は否めない。今月中旬から再開されるも、季節的な要因も手伝ってか秋ほど売りに結び付いていないようだ。	
			レストラン	大きな年末のイベントも終わり、雪もこれから多くなりそうなので…	
		津軽	美容院	インフレの影響が日を追って重なり生活費が苦しくなっている。	
			一般小売店	7～9月期は前年比がプラスでしたが、10～12月期はわずかですがマイナスでした。	
			都市型ホテル	新型コロナの流行が続き、諸物価高騰が収益を圧迫している。	
			住宅建設販売	住宅の新築ですが、建築予定があっても、時期・実行を定められない方が多くなった。	
			コンビニ	ドラッグストアやスーパーがコンビニエンスストアに大きく影響しています。年末年始に人が動けば良いと思います。イベント、観光があれば良いのですが。	
		県南	住宅建設販売	高額商品（住宅・車）の販売で最近売れない話をよく耳にする。	
			家電量販店	物価高、電気代などの値上げなどで買い物に対し慎重と思われる。	
			商店街	油(燃料)関係の値上がりと今後は電気の値上げが控えているから。	
		下北	一般飲食店	ありとあらゆる物の値段が上がり、給料は変わらずで財布の紐が堅い。	
			ガソリンスタンド	昨年に比べるとコロナに対する閉塞感も緩和され良く成ってきていると思いますが、3ヶ月前に比べるとコロナ感染者も増えているので忘新年会もそれ程でもなかったようですし、物価の高騰で買い控えもあると思います。	
			コンビニ	年末年始も客類が少ない。必要な物だけ買っている。	
		企業	東青	建設	資材高騰と人手不足で深刻な影響が出てきています。
	津軽		広告・デザイン	webサイト制作等で観光関係の事業者様とお仕事をさせていただいているが、補助金等を理由に制作の支払いを猶予して欲しい等のご相談がありました。同様に飲食店等のテナントを運営管理している方々もまだ、コロナ影響下にあり、厳しい状況が続いていると話を聞くことがあります。体感として前向きな要素は少なく感じています。	
	県南		電気機械製造	物価高、エネルギー費高で家計や企業の資金が圧迫されている。増税もあり、良い話がない。	
			食料品製造	物価高。	
	下北		食料品製造	相次ぐ値上げの反動で、数字は伸びているが、それは値上げ分。利益が値上げ前より取れていない。	
	雇用		東青	求人情報誌	物価高。
			津軽	新聞社求人広告	物価の高騰で個人消費が伸び悩んでいる。暖房費がかさんで冬場は厳しい。

現状	分野	地区	業種	理由	
悪くなっている	家計	東青	コンビニ	物価高の為だと思います。	
		東青	タクシー	3年ぶりとなる行動制限のない年末年始の帰省移動こそ多かったものの、各家庭でおせちを作るよりも既製品で代用したほうが無駄が少ないといった風潮が多く感じられた年末年始であった。相変わらず諸物価の上昇は止まらずひたすら生活防衛といったことを中心に物事を考える方も増え経済の廻りがよどんでいる様に思えるため。	
			観光型ホテル・旅館	年明けから全国旅行割が再開されたのは大変有難いが、補助率が下がったことに加え、いつもながら開始アナウンスが遅く新規予約数上積み足を引っ張っている。更に、今回は地域クーポンが電子のみとなった点についての認知度が大変低く、前回にも増して現場の業務負荷が深刻になっており、参加そのものを見送る施設もたいへん増えてしまった。	
		津軽	百貨店・スーパー	物価の上昇、その為に賃金の上乗せ、見直しを取りざたされているが、本当に円滑なサイクルになるかが不安。	
			衣料専門店	コロナ禍で外食、宴会をしない。	
		県南	スナック	出かけない癖がついてしまっている。出るのがおっくうになってきている。	
			百貨店・スーパー	収入が増えていないのに、食料品や電気・ガス料金の値上げ、社会保険料の負担増等により支出が増えているから。新型コロナの感染拡大により閉塞感があり、まだまだ自由に旅行ができず、外食に出かけられないから。	
			設計事務所	物価高は深刻化しており、経済活動が鈍っていると感じている。	
		企業	津軽	食料品製造	あらゆる物の価格上昇による買い渋り。
				電気機械製造	業界（スマホ）の傾向で落ち込む時期ではあるが、近年に無い落ち込みとなっているため。
		雇用	東青	新聞社求人広告	止まらない物価上昇、燃料価格の高止まり、社会情勢不安で消費意欲がますます冷え込んでいる。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	コロナも4月になれば5類になると思う。毎日の集計が国民に与える心の負担が景気に反影する部分は大きいですが、5類になれば発表する根拠がなくなり落ちつくのだと思う。
			卸売業	観光等の行事が開催されると商品の動きが変わって行く。(良くなって行く)
			都市型ホテル	段階的なコロナによる種々の規制緩和、青森空港国際線の就航再開によりインバウンドの需要が期待できる。春には桜シーズンの旅行者も増えると予想できるため。
		県南	旅行代理店	コロナに対する考え方に変わり、定着すると思う。ウィズコロナでいいんだと決意すると思うから。
やや良くなる	家計	東青	一般小売店	規制緩和もあり外国人客観光客の姿がちらほら目立ち始めているので、期待も込めて。
			商店街	懸念としては、新型コロナの再拡大や物価高の不透明さなどがあるが、行き交う人々の表情や話しぶりは、明るい方向に向かってきているように感じる。
			百貨店・スーパー	行動制限の緩和により旅行者、インバウンドは上向きになると思う。
			衣料専門店	コロナ禍が峠を越え、来街者が増えてきた、市中にお金は出回っていて、購買意欲はあるので良い製品があれば景気は上向きです。「増税。増税。」と景気を冷やす政策、報道を慎んでほしい。
			美容院	お正月というので少しは人が出入りすると思います。
		津軽	一般飲食店	春に向かうことでコロナ感染者が減り、コロナウイルスへの対応が変わると予想されるため。
			設計事務所	私の会社の今年度事業の見込みは前年比を既に上回っております。
			観光名所等	青森お出かけキャンペーン、プレミアムチケットを期待したい。
			旅行代理店	全国旅行支援の継続。
			都市型ホテル	コロナ終息による経済活動の活発化を期待する。
			衣料専門店	コロナ禍ですが外食、宴会を多少行なっている。
		県南	百貨店・スーパー	コロナウイルスによる行動制限が緩和され、お客様の行動範囲が確実に広がっている状況が更に良くなっているであろうという推測ができるから。
			タクシー	今の調子でどんどんと上の方を向いて行くのではないか。コロナをあまり気にしなくてもいいのではないか?? そのように期待をしたい。
			卸売業	以前よりも自粛の雰囲気が無くなり、帰省や飲み歩きが増えていると感じるため。
			一般小売店	希望的観測ですがコロナの減速、円安の回復、インバウンドの増等。
			美容院	新年を迎え、コロナ解禁の人の動きが少しずつ活性化してくるのではないかと思います。
乗用車販売	半導体不足・部品調達遅れが徐々に回復傾向にあり、自動車の供給も兆しが見えはじめて来ている。			

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	下北	タクシー	春になり、新年度が始まる時期で企業の人事の動きや、新社会人の移動等で活性化される所も多く、新産業や新業種(具体的には何かはわかりませんが…)が出て来ると思います。
			百貨店・スーパー	将来賃金UPが進むと所得が増え大部分貯蓄に向けられたお金が支出の方へ幾分向けられ、経済が回転する可能性あり。
	企業	津軽	経営コンサルタント	物価が徐々に高騰しているが、価格転嫁も進んでいる(だから物価が上がっているわけだが)。今回の最低賃金は全国平均と同じ31円の上昇であったが、物価が上がって従業員の生活の心配からか経営者側からの不服の声は少なかったように感じる。今後の賃金改定時に通年以上の上昇に踏み切る会社が増えるのではないかと。
			県南	飲料品製造
	雇用	津軽	新聞社求人広告	規制緩和によるインバウンド需要の高まりに加え、全国旅行支援の再開などで冬季観光は追い風に、春に向けて上昇を期待。
		県南	人材派遣	取引先の業種・業界により景気観は様々だが、求人の依頼は増加傾向(将来に向けた増員)にあるため、直近の景気が上向きの方向に感じる。
変わらない	家計	東青	コンビニ	天候が良くなるので景気も良くなってほしいが景気は変わらないと思います。
			旅行代理店	様々な物の値上げなど有りこの先景気が良くなるとは思えない。
			設計事務所	建築資材に限らず軒並みに生活用品が値上がりしており、多少の円高傾向の動きが直接物価にどの様に反映されるか見守りたい。工事予算の中で品質を保つ戦いでもある。
			観光名所等	旅行支援の継続、水際対策の緩和により旅行者が増えると思う。
			家電量販店	各メディアにて23年初頭以降の値上げ品目がすでに報道されており、品目数でみても今後さらに値上げの波は断続的に続くものと予測されます。光熱費に関しては、大手電力会社が政府の負担軽減策を受けて電気料金の値下げを実施予定と報道されておりますが、4月から家庭向け規制料金の値上げ申請も大手数社より申請されており、結果として政府による補助額を上回り実質的な消費者の負担額は値上げもしくは据え置きとなる可能性もあると考えられます。
			スナック	見当がつかえません。スナック飲食店は静かなのに……。
	津軽	娯楽業	多少良くなったとしても、コロナ感染者は増えているし、物価高もあるのでほぼ変わらないと思う。	
		一般小売店	リンゴ農家の景気の良さが、商店街の落ち込みぶりやコロナが収まらないこと、ウクライナ侵攻と暗いニュースに打ち消されてしまっている。	
		レストラン	また、先の見通しが予測できない為。	
		スナック	コロナと物価高で人の流れがない。	
		コンビニ	コロナになる人が多くなればコンビニは営業しなくても良い位、売上が減ります。	
		乗用車販売	コロナ、ウクライナなどの情勢変化が見込めない。	

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	ガソリンスタンド	新型コロナウイルス感染による外出規制が緩和されているが、いまだに終息の見通しが立たない状況下であり、消費動向好転の兆しを感じられない。
			美容院	インフレに加えコロナ感染も治ったとは言えず中国からの変異株は春節を挟み世界的に広がり景気にもブレーキがかかる。
			百貨店・スーパー	消費税など、その他税金が変動するので、安心した生活が出来ない。(今後の予想として)
		県南	レストラン	このまま変わらず、このままを維持できればいいと思います。
			スナック	コロナの状況が変わらない上、1番寒い時期に入るから。
			観光名所等	商品に大きな変化がないため、このままゆるやかではないかと思われる。
			家電量販店	物価高、電気代などの値上げなどで買い物に対し慎重になる状況が続くと予測します。
			ガソリンスタンド	今後のコロナ感染症の増減にもよると思われるが、物価の上昇もあり大きく変わることはないものと思う。
			住宅建設販売	増税や値上げのニュースが最近多いので unnecessary 支出を抑えている人が周りに増えてきている。スマートフォンなど古くなくてもそのまま使用している。
			一般飲食店	思いは、良くなって欲しい。世間の情勢を考えると問題が山積みしている。シビアに考えておかないと、もしもに対応できない気がする。賃上げ、賃上げと騒いでいるが、小企業はコロナの痛手はまだ癒されていない状況でそれには対応が出来ないはずがない。やはり商いは、儲けることではなくて、損をしないことだと思う。コツコツと。
	商店街	コロナ、ウクライナ等の問題が解決するような兆しが見えないから。		
	設計事務所	まだまだ時間を必要としていると思う。		
	下北	都市型ホテル	コロナ感染の増加もありますが、物価高による影響が大きいと思います。まだまだ上向きに転ずるのには、時間がかかると思います。	
		ガソリンスタンド	コロナ感染も落ち着き、元通りの生活に近づいているので良く成っていると思いますが、物価が高騰しているので財布の紐も固くなっていると思うので一進一退といったところではないでしょうか？！	
		一般飲食店	コロナの影響もあり、なかなか収束は出来ないんでしょうが日常のくらしにもたらす影響が平行線のままな感じです。	
	企業	東青	食料品製造	中小企業では賃金上昇も値上げを補えるほどできません。
		津軽	食料品製造	まだまだ物価が上がる要素が充分にある為。
		県南	建設	まだまだ原材料や原油の高騰、円安コストの上昇を転嫁できない中小企業が多く存在している。原油高や円安も徐々に落ち着いて今後はゆるやかに経済の回復が予想されてはいるとはいえ、1～4月で値上げや更に再値上げされる食品・飲料水の品目が7000を超えると言われており、度重なる値上げラッシュで家計はますます厳しくなることから、この先良くなるとは言いがたい。また、コロナの派生型への置き換わりも報告されてきており、中国の春節での移動で感染の拡大リスクやインフルエンザの流行期も到来していることからダブル流行で景気に水を差す可能性もある。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	県南	広告・デザイン	コロナ融資を受けた企業の返済が始まっている影響もあり、(物価高も要因)先行投資(広告、宣伝費)よりも返済にまわる利益が多いと思われる。
			紙・パルプ製造	物価高等の経済への影響は継続。
			電気機械製造	欧州の景気悪化の影響が輸出品に出始めている。日本国内は増税であり、個人も企業も苦しくなるのが目に見えている。
	雇用	東青	新聞社求人広告	消費を回復させそうな要因が当面見当たらない。
			人材派遣	物価高騰見込みもあり、大きな変化はなさそう。
		県南	新聞社求人広告	ウィズコロナでイベント等の復活は見られるが物価高で良くも悪くもない状態。
やや悪くなる	家計	東青	娯楽業	例年であれば年末年始は少し活気があるのに昨年末から新年にかけて感じられない。
			ガソリンスタンド	物価高の影響で、消費者の財布の紐はますます固くなる。
			娯楽業	3ヶ月先も変わらないと判断されますが、やはり昨今の物価上昇に伴う景気の悪化の状況を考えますと「やや悪くなる」で回答させていただきました。
		津軽	商店街	電気代やガソリン、食料品も値上げしたので節約するはず。
			百貨店・スーパー	物価高。
			住宅建設販売	価格高騰(資材高騰)の状況が落ちつかず、更に建築予算を増やさなければ、実現できない状態が続くから。
	県南	百貨店・スーパー	年末のごちそう関連では例年と大きな変化が感じられなかったが、年始以降は値上げの影響から食費に対して財布の紐が固くなるのではないかと。	
		コンビニ	コロナ・エネルギー価格の上昇・原材料の高騰など先行き不透明。	
		下北	コンビニ	下北半島の少子化、人口減少は他の地域より進んでいると感じる。
	企業	東青	広告・デザイン	年度を跨ぎやや下向きになり、そこから少し平行線を辿ると思う。
			経営コンサルタント	燃料・原材料価格の高騰、米国の景気減速に伴う我が国の輸出減、中国の供給力の制約、我が国の金融緩和の修正等の下振れ要因は高まると予測される。
		津軽	広告・デザイン	プラス要素があまりにも少ないと感じる。特に青森県内では補助金一つとっても支払い関係の遡及を認めていないものが多く、支払いが認可が下りてからなど必要なタイミングに必要なものを使うのが難しい。補助金ありきで考えるのがそもそもなのかもしれないが、事業者にとってはあるのであれば使いたいのが本音。そういった要素が改善されることを祈るばかり。
			経営コンサルタント	年明け以降、原材料価格の更なる上昇が予想され、コロナの状況も不透明である為。
		県南	食料品製造	家計防衛。
			下北	食料品製造

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	雇用	津軽	人材派遣	生活必需品である電気、ガス等のエネルギーや食料品の価格高騰が止まらない。今後も更なる価格上昇が予測されているので、消費者の買い控えが更に増し、景気に水を差すのではないかと。各関係者には、賃上げや期間限定でもいいので消費税減税等、可処分所得が増加する方法をとっていただきたいと強く願う。
悪くなる	家計	東青	レストラン	大きな年末のイベントも終わり、雪もこれから多くなりそうなので…
			観光型ホテル・旅館	旅行支援が今後更に縮小されれば業績へのダメージも大きくなると思われるため。
			百貨店・スーパー	物価、エネルギーの単価などの上昇が止まらず、自由に使えるにお金が減ることから節約傾向がさらに進むため。
			タクシー	相変わらず諸物価の上昇は止まらずひたすら生活防衛といったことを中心に物事を考える方も増え経済の廻りがよどんでいる状況がそのまま継続すると予測されることと、コロナウイルスの変化型がどこまで人々の暮らしに影響を与えるものかまだ現段階では想像がつかない故、現状に比較して好転するとは考えられない。
		県南	百貨店・スーパー	収入が増える見込みがないのに、食料品や電気・ガス料金の値上げが続く見込みがある為。新型コロナの感染拡大とインフルエンザの流行により閉塞感があり、まだまだ自由に旅行ができず、外食に出かけられない見込みがある為。1月で閉館する施設がある為。
企業	津軽	電気機械製造	今期いっぱいまでは減少する予定となっているため。	

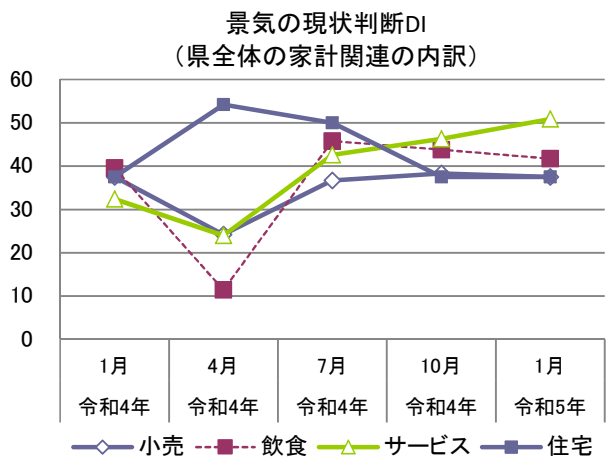
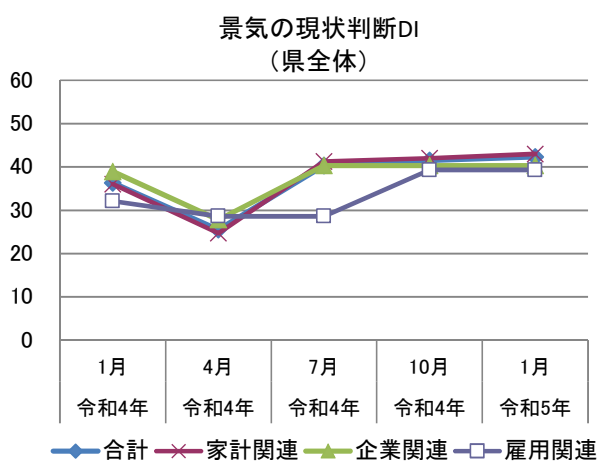
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

① D I

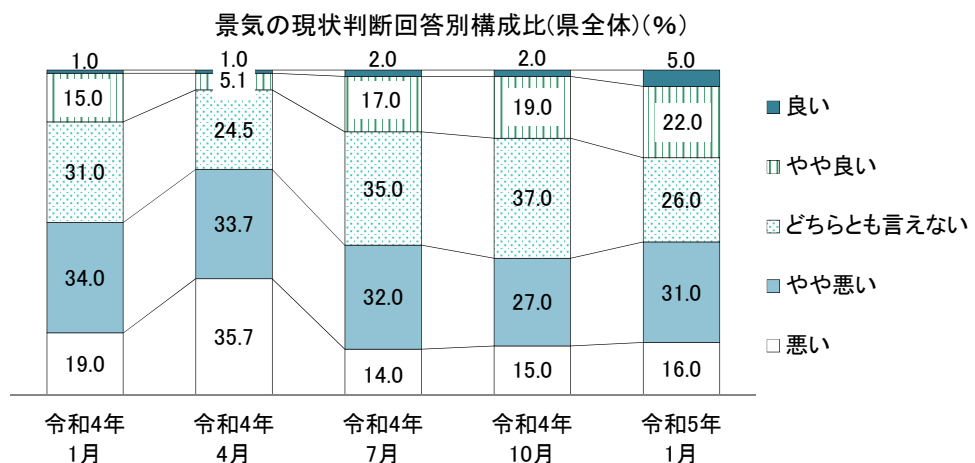
n = 100

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合計	36.3	25.5	40.3	41.5	42.3	0.8
家計関連	36.0	24.7	41.3	42.0	43.0	1.0
小売	37.5	24.2	36.7	38.3	37.5	▲ 0.8
飲食	39.6	11.4	45.8	43.8	41.7	▲ 2.1
サービス	32.4	24.0	42.6	46.3	50.9	4.6
住宅	37.5	54.2	50.0	37.5	37.5	0.0
企業関連	38.9	27.8	40.3	40.3	40.3	0.0
雇用関連	32.1	28.6	28.6	39.3	39.3	0.0



② 回答別構成比 (%)

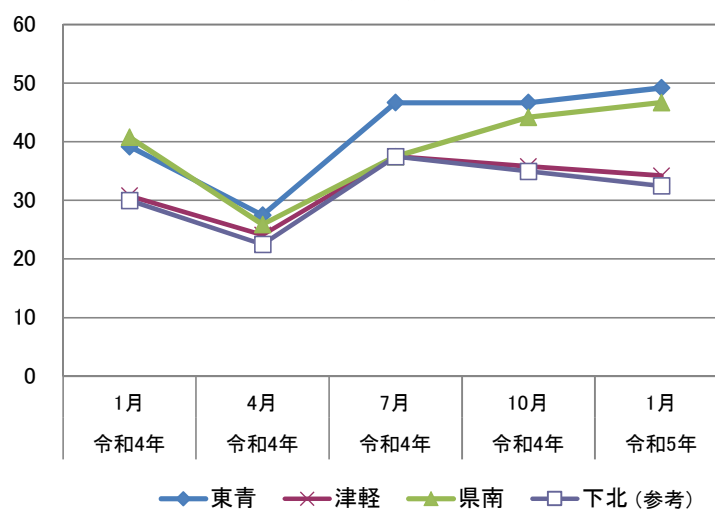
	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
良い	1.0	1.0	2.0	2.0	5.0	3.0
やや良い	15.0	5.1	17.0	19.0	22.0	3.0
どちらとも言えない	31.0	24.5	35.0	37.0	26.0	▲ 11.0
やや悪い	34.0	33.7	32.0	27.0	31.0	4.0
悪い	19.0	35.7	14.0	15.0	16.0	1.0



③地区別DI

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	36.3	25.5	40.3	41.5	42.3	0.8
東青	39.2	27.5	46.7	46.7	49.2	2.5
津軽	30.8	24.1	37.5	35.8	34.2	▲ 1.6
県南	40.8	25.9	37.5	44.2	46.7	2.5
下北	30.0	22.5	37.5	35.0	32.5	▲ 2.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	民主党政権末期、「福祉に膨大な費用が、増税も必要」と民衆に蓄えを勧めデフレスパイラルに。自民党に政権が変わる“気配”だけで景気は一気に好転した。全く景気は“気”からを体験した、その時と似ているような“気”がする。幸せな国民生活には景気対策が最も必要と思う。
		一般小売店	当市のプレミアム付き商品券。前回に引き続き応援券設定の効果か、特に学生服など子育て世代の学用品において、小規模店での券利用が伸長しているようだ。
		商店街	店頭で見ると、外国人のお客様の来街数が明らかに増えてきており、家族連れも多く見受けられる。
		卸売業	価格改定の影響が出てくると思う。
		一般飲食店	会社や役所での飲み会が全くなかったことは我々飲食には大きな打撃です。国の支援も期待できない中、振り絞るだけの力も残りわずか。春が遠く感じられます。永く厳しいコロナ禍の終局を切に願う。
		レストラン	年末のコロナが多く、クリスマス予約も直前のキャンセルが多かった。コロナが減れば、それなりにお客様も動くのでは。
		スナック	中年のお客様がほしいですね。若い方もきちんと言葉の方ですね。とにかくコロナに終息してほしい。
		観光名所等	国内団体旅行、外国人団体旅行が回復傾向。外国人フリー客も著しく増加している。
		美容院	物価も上がったからサイフのひもはきつと思います。人は流れていると思います。
	娯楽業	現在、身の回りの経済に関しては、特に大きな動き、特徴的な動きはみられません。やや大きな動きという電力料金の高騰で、今後それらに関連するものが次々と上昇していくのではと考えております。	
	津軽	コンビニ	業界が住み分け出来るなら良いのですが。企業と企業が戦っているのが、無理ですね。
		家電量販店	景気の気は、気持ちの気。平和が安心して繋がり、安定にして行く。はやく落ち着いてほしいと願う。
		一般小売店	以前は商店街の各商店のインバウンドの免税手続きを、商店街の中心にある百貨店が手数料を取ってやってくれていましたが、国の方針が変わりその百貨店でも出来なくなったので、外国人観光客が増えつつあるも、指をくわえているばかりである。
		商店街	どこも不景気で羽振りのいい人が減った。
		一般飲食店	材料や人件費・光熱費の高騰に加えて、利上げ、増税の話が広がり、悪い要素しかない。
		観光名所等	クリスマスのサンタ号は毎年周辺の賑わい、冬に咲く桜の夕食前の立ち寄りが目立つ。インバウンドは他国に及ぶ来訪者、スキー客の増加が目立つ。神社は例年より減少？
		設計事務所	ウッドショックによる木材価格高騰がようやく落ち着いたようです。段々と木材に関しては価格がDOWNしてきているようで住宅関連の業務が上向き傾向にある気がします。
	県南	コンビニ	12月、南部せんべい店注文殺到。(生産間に合わなかったようです。)
		百貨店・スーパー	お米:令和4年のお米価格の価格が上がり、農家さんにとっては良いことだと思います。消費者にはマイナス、小売店での販売価格は10kg入り600円程度上昇し、びっくりしました。 卵:鳥インフルエンザの影響により、卵が不足している。チラシ特売から外したスーパー、チラシには入るが特売価格が上がったスーパーがある。新型コロナの影響により外食需要が減り、鶏の数が全国的に調整(減産)されている中でのこの事態で、卵価が上昇している。 文化:映画館が閉館する。22万都市に映画館がまた無くなってとてもとても残念です。ネットの台題によりただでさえ収入が厳しい中、単館系の映画を上映するなどして頑張ってきたが、そもそも大手映画配給会社の映画を満足に上映できないのは、独占禁止法に違反していないか。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	卸売業	宅配便の売り上げが上がっている。出歩きづらい分そういうものに頼っていると感じる。
		一般飲食店	こう見ると、各々の首長の政治力かな？
		観光名所等	会員の新加入者もなく、高齢化しており、脱会者が毎年のようになっている。
		タクシー	当市中心街の再開発に期待をしたい。街に人が集まるように――。
		美容院	あらゆる商品のコスト分散のための値上げがまだ続きそうなので少し心配している。かしこい消費者にならざるを得ないと思う。
		住宅建設販売	全国旅行支援やプレミアム商品券・飲食券などの話題には敏感になっているが、それがなければ何もしない人が増えているような気がする。
	下北	コンビニ	商売をやっている人(特に小売業、飲食業の人)が景気が悪い話ばかりしている。コンビニの時間短縮の店(24～6時を閉める店)も増えてきた。
		百貨店・スーパー	色々な支援を利用して旅行を企画される家族が増えたとし、キャリーバック・外出着等の売上が徐々に増加中。
		一般飲食店	特徴的な動きは目立つことはないですがこれ以上物価高になってほしくない。
		タクシー	4月は、県議会選挙と当地域の議会議員選挙がつづく為、おちつかない1カ月になりそうです。
企業	東青	経営コンサルタント	23年はコロナ特別融資の元金返済が本格化に対応するため、中小企業者は、青森県の「伴走支援型借換資金」を活用し、資金繰り円滑化を図る必要があると思われる。
	津軽	食料品製造	同業者の倒産、廃業が多くなっている。
		飲料品製造	取引先からの聞き取りで、資材の価格高で大変厳しいとの事。
		建設	県内における当管内の人数が3年経過しても多いのはどうしてなのか。幼稚園・学校等子供達からかかって家庭で感染してしまう、この連鎖を早く止めてほしい。これからの時期、受験生には十分気を付けて頑張ってもらいたい。物の値段がはらばなく値上がりしている。まだまだ続くと思われる。賃上げはどうなのか。コロナと同じく、早く落ち着いて安心できるようになりたい。
		広告・デザイン	賃上げ等が結局は企業努力による所なのに対し、法人税の増税など暗い話題は多く感じる。
	県南	電気機械製造	「年賀状をやめます」という連絡がチラホラ。企業の年始あいさつが印刷代込みでたった100円かその位で済むのももったいない話だと思う。考えは人や企業それぞれだが、SDGsを理由に挙げる書き方が多いのも不思議な感じがする。
		建設	私的には、今年のクリスマスケーキの価格が大きく跳ね上がったことで購入を見送った。また、様々な食材が高騰したことによりクリスマスや正月料理メニュー自体を変更したり、料理自体の品数や使う食材数を減らしたりするなど節約意識が働いてしまった。でも、今までの無計画な無駄遣いや贅沢に慣れすぎた生活してきただけであって、ある意味今が正常な庶民感覚または消費感覚ではないかと思えてきたのは私だけであろうか…。
広告・デザイン		青森県として(三村知事)県内の中小企業に法人10万、個人5万の支援金の話は、(テレビのニュース等で発表したはず)その後、どうなっているのか?景気ウォッチャー調査に協力している私の方に聞いてくる経営者が多い。一体、どうなっているのか回答して欲しい。	
雇用	東青	新聞求人広告	冬という季節を差し引いても、街に買い物に出ている人の数が減っているように感じます。新型コロナウイルスの影響から徐々に抜け出せそう、という時期だけに、気のせいであってほしいです。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166

fax : 017-734-8038